



国家公務員共済組合連合会

虎の門病院

TORANOMON HOSPITAL

呼吸器センター内科

https://toranomon.kkr.or.jp/cms/departments/respiratory_i/



初期研修プログラム

● 初期研修医 21名/年

内科系プログラム 11名

外科系プログラム 6名

産婦人科重点研修コース 2名 小児科重点研修コース 2名

当直 月4回程度

宿舎 近隣宿舎（原則2年間全寮制）

学会・研究会 参加可



初期研修プログラム

-内科系-

- 内科 計16カ月で内科系診療科を2ヶ月毎 網羅的な研修
- その他に外科, 麻酔科, 小児科, 産婦人科, 精神科, 地域研修
- 救急科研修や時間外当直により急性期診療の経験を取得
- 一般内科外来（通常外来）を指導医とともに経験する

内科		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年次		循環器		救急		産婦	小児	腎臓(分院)		消外	精神		血液
2年次		呼吸器		消化器		肝臓(分院)		地域	麻酔	内分泌代謝			神経

※内科16、救急2、麻酔1、外科1、小児1、産婦人科1、精神科1、地域1

内科専門研修プログラム

-専攻医-

● 3ヶ月毎

● 研修例

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
3年次	関連病院			関連病院			呼吸器内科			呼吸器内科		
4年次	呼吸器内科			呼吸器内科			関連病院			呼吸器内科		
5年次	希望科			呼吸器内科			呼吸器内科			関連病院		

希望科： 当院の各種内科、臨床感染症科、臨床腫瘍科 など

関連病院： がん研有明病院、国立がん研究センター中央病院、三宿病院、虎の門病院分院、東京大学医学部附属病院、帝京大学ちば総合医療センター、横須賀共済病院、東京医科歯科大学病院 など

当直： 月1-3回程度、21,000円/回

給与： 月60-70万円程度 (基本給37-40万円/月、当直代、時間外手当)+賞与
土日祝日は当番制

初期研修 修了後

- 初期研修修了後に希望者は、選考会議を経て専攻医として進級できます
- 専攻医として内科専門医の取得が可能です
- 専攻医(卒後5年) 修了後、呼吸器内科専門医取得を目指し継続した勤務が可能です (フェロー枠)



呼吸器センター内科

- スタッフ：部長含め6名
- 部長： 玉岡 明洋 (COPD/喘息)
- 医長： 宮本 篤 (間質性肺疾患)、花田 豪郎(呼吸器感染症)
三ツ村 隆弘(肺癌)
- 病床数：本院 58床、分院 20床



分院 カンファレンス



週間スケジュール

	月	火	水	木	金
AM	病棟業務	気管支鏡	病棟業務	病棟業務	気管支鏡
PM	多職種 カンファレンス	病棟業務	呼吸器疾患合同 カンファレンス	回診	病棟業務

看護師 リハビリ MSW
(慢性期患者さんの退院後
ケアを話し合う)

放射線治療科・診断科
呼吸器外科 病理診断科
(臨床腫瘍科、感染症科、リ
ウマチ膠原病内科、循環器内
科)

クルズス適宜

※CTガイド下肺生検を実
施 (年10-20件程度)

呼吸器外科・放射線科・病理診断 科との合同カンファレンス風景 週1回

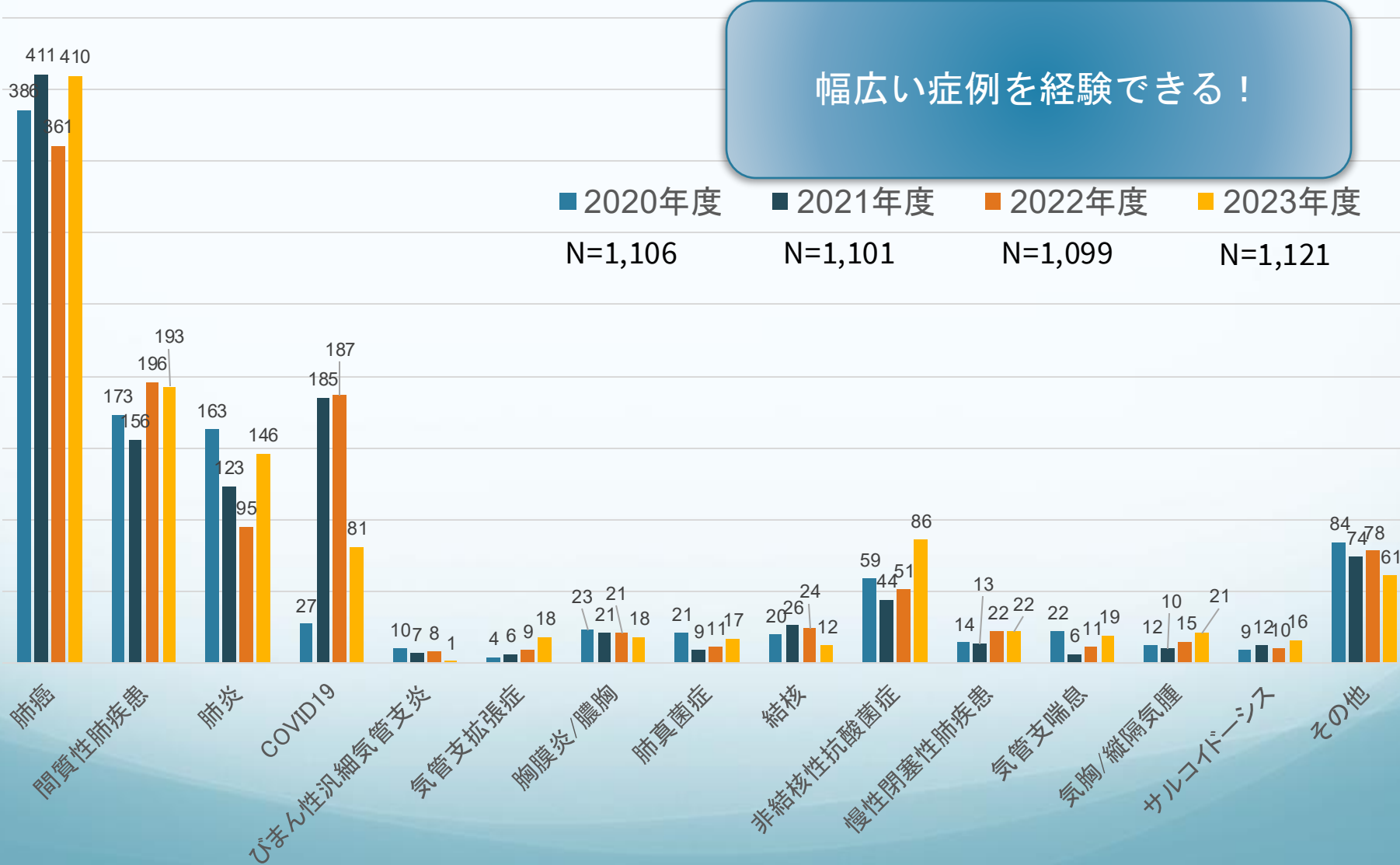
びまん性肺疾患診断・治療のために重要な集学的検討(MDD)、stage III肺癌（化学放射線治療の後に手術/診療科連携が必要）の集約的治療方針の決定など



疾患別入院患者数

幅広い症例を経験できる！

■ 2020年度 N=1,106 ■ 2021年度 N=1,101 ■ 2022年度 N=1,099 ■ 2023年度 N=1,121



修得目標

疾患

- 1) 一般的な感染症の診断・評価・治療
 - 2) 気管支喘息の診断・評価・急性期治療
 - 3) 肺結核の診断・評価・治療
 - 4) COPDの診断・評価・治療
 - 5) 肺腫瘍の診断・評価・治療選択
 - 6) 気胸の診断・治療
 - 7) 間質性肺炎の診断・治療
- など

検査

- 1) 胸部単純X線
- 2) 胸部CT
- 3) 核医学検査
- 4) 呼吸機能検査
- 5) 喀痰検査
- 6) 動脈血ガス分析
- 7) 胸腔穿刺(胸腔穿刺, 胸腔ドレーン)
- 8) 気管支鏡検査

上記検査の読影および評価

気管支鏡検査

- 当病院は気管支鏡専門医制度の認定施設のため気管支鏡専門医の取得が可能です。
- 初期研修医の先生方は気管への挿入と観察
専攻医の先生方はクライオ生検を含めた手技取得を目指します

実績

	EBUS TBNA	クライオ	その他	総計
2021年度	15	--	275	290
2022年度	24	15	246	285
2023年度	51	46	287	384



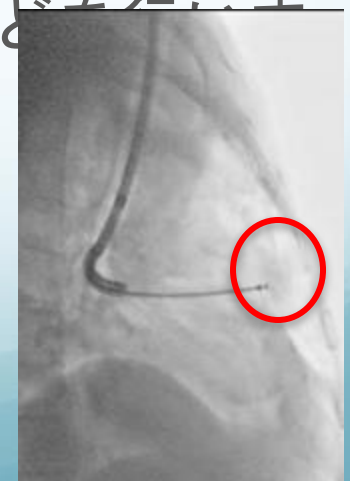
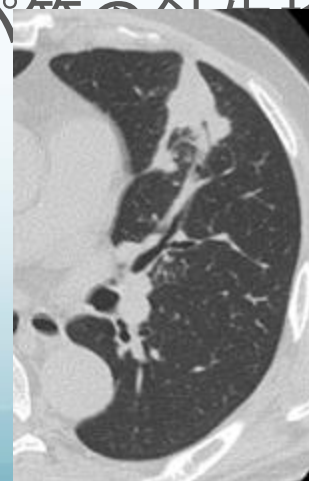
- * クライオ生検は2022/10から
- * その他には radial EBUS, TBLB, BALなど含む)
- * 2024年度は局麻下胸腔鏡を導入。

気管支鏡検査

● 経気管支肺生検、気管支肺胞洗浄

- ・ 悪性疾患（肺癌、リンパ腫など）の診断、病期診断
- ・ 肺炎・結核・真菌症など呼吸器感染症の起因菌検索
- ・ びまん性肺疾患の鑑別、病勢評価・気管内病変の観察、生検

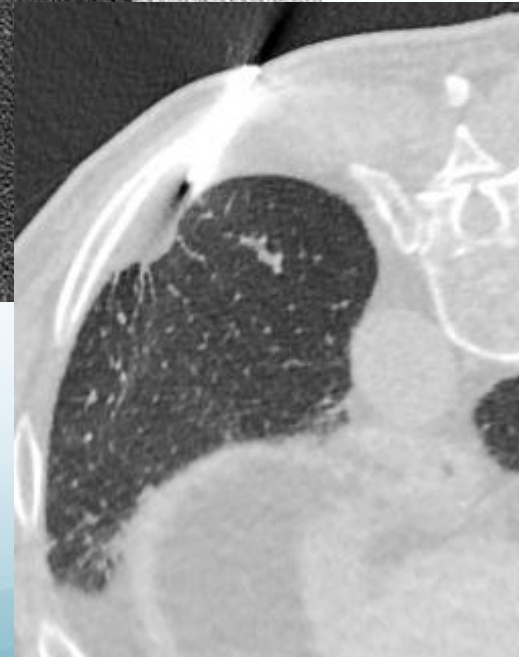
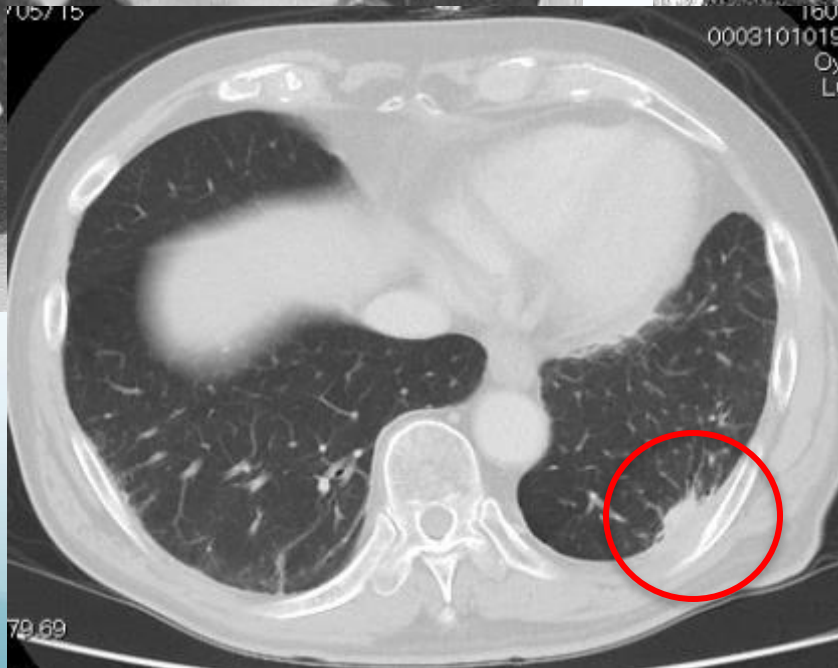
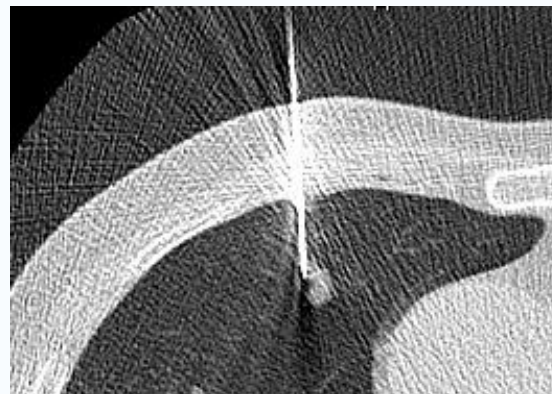
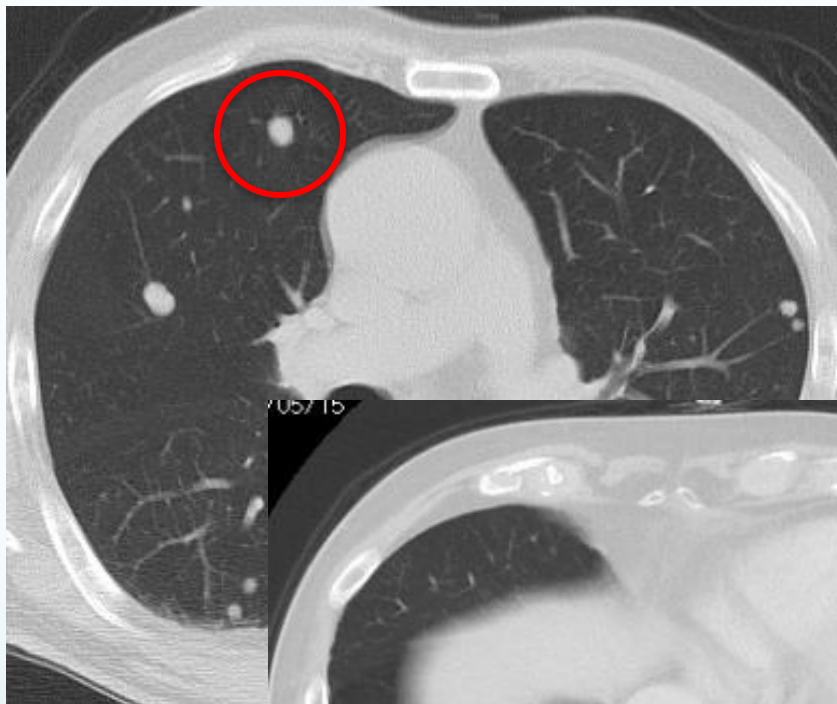
● Cアームを使用して迅速細胞診(ROSE)やクライオ生検、超音波ガイド下肺生検及びリンパ節の生検などを行います。



CTガイド下肺生検

- 末梢病変で気管支鏡での診断が困難な病変を対象に、CTガイド下で経胸壁的に病変を穿刺
- 肺腫瘍の良悪性の鑑別、感染原因の判断、遺伝子変異検索など
- 正診率は気管支鏡下肺生検と比較して明らかに高く、さらに小病変や早期病変においても同様に高い診断的有用性が報告されている
- 当院では呼吸器内科医が実施している

CTガイド下肺生検



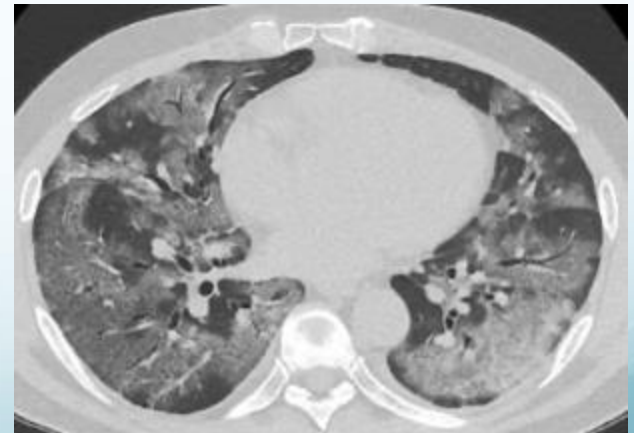
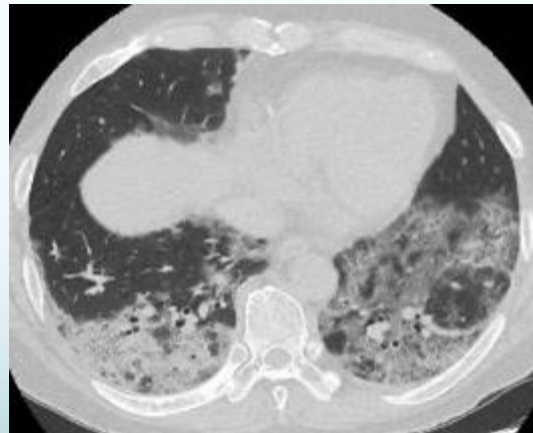
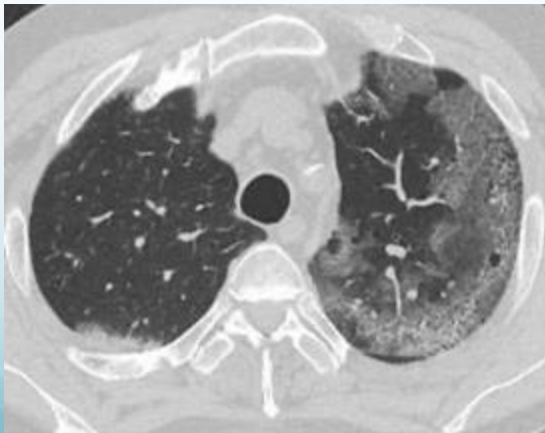
肺癌

- 呼吸器外科、放射線科、癌サポートチームと連携して治療
：外科療法（手術）、化学療法、放射線療法、緩和治療
- 気管支鏡やCTガイド下肺生検で組織診断
- 非小細胞肺癌に対してはオンコマインDX TTなどのコンパニオン診断を用いて遺伝子変異の検索を行い、抗癌剤、分子標的薬、免疫チェックポイント阻害薬などの個別化医療を提供



COVID-19肺炎

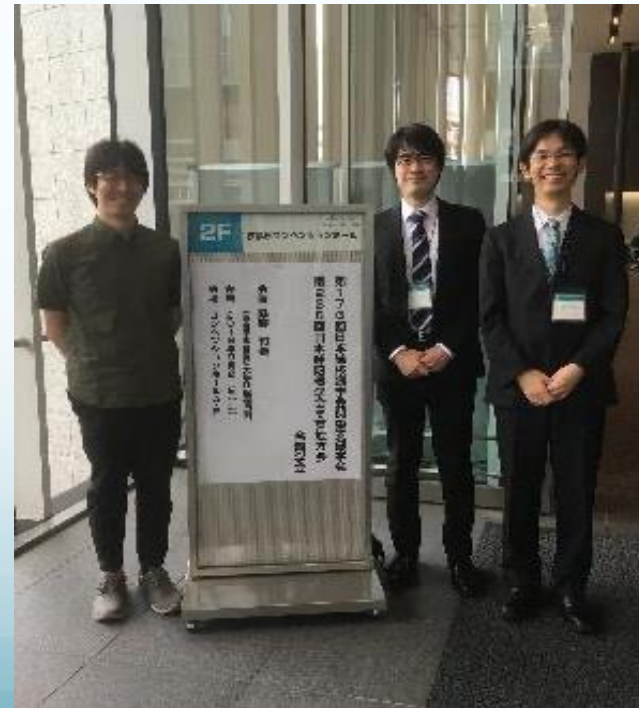
- 集中治療科、感染症科と協力しながら軽症から重症（人工呼吸器使用例含む）まで診療
- 軽症例：対症療法（病態に応じてファビピラビル）
中等症Ⅰ：レムデシビル（肺炎のある症例）
中等症Ⅱ・重症：レムデシビル、ステロイド
バリシチニブ、抗凝固療法



学会発表

- 日本呼吸器学会、肺癌学会、感染症学会、アレルギー学会、内科学会
- 各種地方会
- American Thoracic Society (ATS)
- European Respiratory Society (ERS)

前期研修医の時から積極的に症例発表してもらっています。
意欲のある方には症例報告を英字論文で書いていただいています。



研修の先生の論文

Sakoh et al. BMC Cancer (2019) 19:1220
<https://doi.org/10.1186/s12885-019-6444-0>

BMC Cancer

CASE REPORT

Open Access

Ramsay-Hunt syndrome and subsequent sensory neuropathy as potential immune-related adverse events of nivolumab: a case report



Takashi Sakoh¹, Mami Kanzaki^{2,3}, Atsushi Miyamoto^{1*} , Sayaka Mochizuki¹, Toshiyuki Kakumoto^{2,3}, Kenichiro Sato², Yoshikazu Uesaka^{2,3} and Kazuma Kishi^{1,3}

Nukii et al. BMC Cancer (2019) 19:186
<https://doi.org/10.1186/s12885-019-5399-5>

BMC Cancer

CASE REPORT

Open Access

Pneumatosis intestinalis induced by osimertinib in a patient with lung adenocarcinoma harbouring epidermal growth factor receptor gene mutation with simultaneously detected exon 19 deletion and T790 M point mutation: a case report



Yuki Nukii¹, Atsushi Miyamoto^{1,2*} , Sayaka Mochizuki¹, Shuhei Moriguchi², Yui Takahashi², Kazumasa Ogawa², Kyoko Murase², Shigeo Hanada², Hironori Uraga², Hisashi Takaya², Nasa Morokawa² and Kazuma Kishi^{1,2}

Respiratory Medicine Case Reports 33 (2021) 101466

Contents lists available at ScienceDirect

Respiratory Medicine Case Reports

journal homepage: www.elsevier.com/locate/rmcr



Mendelson's syndrome complicated by bacterial aspiration pneumonia triggered by right putamen bleeding: A case report

Saki Nakashima, Atsushi Miyamoto^{*}, Yui Takahashi, Hiroshi Nakahama, Shuhei Moriguchi, Kyoko Murase, Nasa Morokawa, Takai Daiya

Department of Respiratory Medicine, Respiratory Center, Toranomon Hospital, 2-2-2 Toranomon, Minato-ku, Tokyo, 105-8470, Japan

Respiratory Medicine Case Reports 31 (2020) 101294

Contents lists available at ScienceDirect

Respiratory Medicine Case Reports

journal homepage: <http://www.elsevier.com/locate/rmcr>



Case report

Myeloperoxidase anti-neutrophil cytoplasmic antibody-associated vasculitis with a unique imaging presentation of organizing pneumonia: A case report



Kazufumi Takada, MD¹, Atsushi Miyamoto, MD, PhD^{1,2,*}, Hiroshi Nakahama, MD³, Shuhei Moriguchi, MD⁴, Yui Takahashi, MD⁵, Kazumasa Ogawa, MD^{6,7}, Kyoko Murase, MD⁸, Shigeo Hanada, MD, PhD^{9,10}, Nasa Morokawa, MD, PhD¹¹, Atsuko Kurosaki, MD¹², Takeshi Fujii, MD, PhD¹³, Eiko Hasegawa, MD¹⁴, Hisashi Takaya, MD¹⁵, Daiya Takai, MD, PhD¹⁶

研修の先生の論文



ERJ OPEN RESEARCH
ORIGINAL RESEARCH ARTICLE
K. TAKADA ET AL.

Risk factors and interventions for developing recurrent pneumonia in older adults

Kazufumi Takada^{1,2}, Kazumasa Ogawa^{1,3}, Atsushi Miyamoto^{1,4}, Hiroshi Nakahama¹, Shuhei Moriguchi¹, Kyoko Murase¹, Shigeo Hanada¹, Hisashi Takaya^{1,4}, Meiyo Tamaoka¹ and Daiya Takai¹

¹Department of Respiratory Medicine, Respiratory Centre, Toranomon Hospital, Tokyo, Japan. ²Department of Geriatric Medicine, Graduate School of Medicine, University of Tokyo, Tokyo, Japan. ³Centre for Preventive Medicine, Nomura Hospital, Tokyo, Japan. ⁴Department of Respiratory Medicine, Toranomon Hospital (Branch), Kanagawa, Japan.

Corresponding author: Atsushi Miyamoto (atsushimotty@gmail.com)

Official Case Reports Journal of the Asian Pacific Society of Respiriology

Respirology Case Reports

OPEN ACCESS



Endotracheal granulation after tracheostomy in acute respiratory distress syndrome from COVID-19

Haruko Matsumoto^{1†}, Shigeo Hanada^{1,2†}, Kazumasa Yamamoto¹ & Hisashi Takaya^{1,2}

¹Department of Respiratory Medicine, Toranomon Hospital Kajigaya, Kawasaki, Japan.
²Okinaka Memorial Institute for Medical Research, Tokyo, Japan.

CLINICAL IMAGE

Respirology Case Reports WILEY

Disseminated cryptococcosis in a renal transplant recipient

Seira Ozawa¹ | Shigeo Hanada^{1,2} | Hironori Uruga^{2,3} | Hiroyo Ito⁴ |
Hiroshi Nakahama¹ | Narishige Ishikawa¹ | Shuhei Moriguchi¹ | Kyoko Murase¹ |
Atsushi Miyamoto¹ | Nobukazu Hayashi⁴ | Daiya Takai¹

¹Department of Respiratory Medicine, Respiratory Center, Toranomon Hospital, Tokyo, Japan

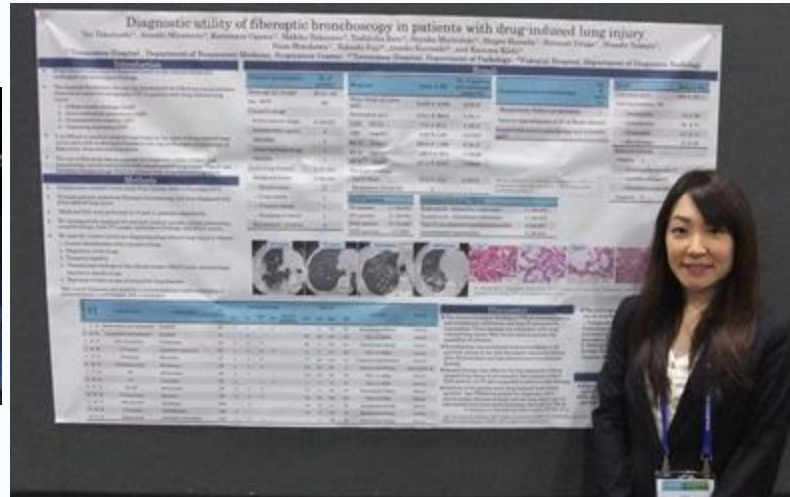
²Okinaka Memorial Institute for Medical Research, Tokyo, Japan

³Department of Pathology, Toranomon Hospital, Tokyo, Japan

⁴Department of Dermatology, Toranomon Hospital, Tokyo, Japan

海外発表(COVID前の時期)

後期専攻医以降ではコロナ前はアメリカやヨーロッパの国際学会に発表にっていました。学術活動には医局費から補助あり。



発表後



日本から発表に来た他施設の先生達と

研修医の感想

- ・ 中村先生 (名古屋市立大学卒)

当院呼吸器内科はバラエティに富んだ多くの症例を主体的に診療できることが魅力です。併診する科も含め高いレベルの医療が実践されているため希少な疾患に出会うこともできると思います。実りのある学会発表もでき、貴重な研修の時間でした。

- ・ 倉田先生 (近畿大学卒)

虎の門病院は臨床の経験だけでなく、学会発表もほとんどの研修医が経験できます。初期研修医のうちにご指導を頂き挑戦することができました。本当に良い経験になりました！



一緒に働いてくださる若い先生 募集しています！

幅広い呼吸器疾患を経験できます。

気管支鏡件数も多く、クライオバイオプシーも
豊富に経験できます。

学会や医学論文の執筆もサポートしています。

内科専門医および呼吸器専門医の取得を目指す
方、呼吸器内科のサブスペシャリティーを検討
中の方など随時募集しています。

医学部学生見学

- 春期、夏期休暇中の学生見学お待ちしております！
※詳細は当院医学教育部HPでご確認をお願いします
- 呼吸器センター内科では1～5日間の見学までご希望に沿って受け付けています。
- 火曜日・金曜日の気管支鏡検査 and/or 水曜日の多診療科合同カンファランスに参加いただくのがお勧めです。
- 研修医なりたての先輩医師から直接当院での研修生活や日々の暮らし、採用試験合格へのコツなどを聴く事ができます。

初期研修医・専攻医 見学随時

- 随時受け付けています。ご連絡をお待ちしています。
- 連絡先 resp-med@toranomom.gr.jp
(部長：玉岡明洋、医長:宮本篤)
- ぜひ呼吸器内科医を目指す皆さんのキャリア形成のお手伝いができればと考えております。
- まずはお話だけでもOKです。
- 後期専攻医の先生にはATS, ERSなど国際学会での発表もサポート。当院での医員採用や大学院入学など希望に応じた進路相談、専門医取得までのプロセスをサポート。
- 初期研修医の先生には内科学会、呼吸器学会、肺癌学会などでの発表をサポート。

● 連絡先 resp-med@toranomom.gr.jp
(部長：玉岡明洋)

● 病院見学や面談などお気軽にご連絡ください。

